

～若者と地域をつなぐプロジェクト～

地域インターンシップ 世田谷

協働事業1年目を終えての課題と可能性

認定NPO法人CFFジャパン／地域インターンシップ世田谷実行委員会

2023.3.24 令和4年度世田谷区提案型協働事業成果報告会

地域インターンシップ世田谷の目的

若者が、世田谷の地域で活動している団体でインターンシップをするプログラムをコーディネートすることにより、

■若者と地域をつなぐ

(学生が地域にかかわり出会う機会を増やす)

■インターン生が団体のスタッフとして経験を積み**成長できる場をつくる**

■関係する団体や機関をつなぎ、世田谷の**地域を担い支える人材が育つプラットフォームをつくる**



地域インターンシップ 世田谷の立ち上げ

■2021年度

年度途中からトライアル実施
(民間助成金)

■2022年度

年度はじめから本格実施
(世田谷区提案型協働事業)



2022年度



実行委員会

<2022年度>

- CFFジャパン（子ども支援と青年育成）
- 世田谷コミュニティ財団（中間支援）
- NPOインターンシップラボ
（全国各地の実践者によるネットワーク）
- 区内の学生・大学教員有志
- 2021年度インターン卒業生



2022年度インターンプログラム概要

期間	8月～9月	学生が活動しやすい夏休みに活動期間を設定
日数	10日間程度	基本は短期の活動体験 “地域と出会う”
参加対象	世田谷区内または周辺地域に在住または在学の若者	実際に活動したのは全員大学生（一部院生）
募集人数	20人程度	16人 が活動（応募は27人） 半数が世田谷区内に在住・在学 ボランティア募集サイト経由の応募が多数
受入団体	10団体	昨年度より倍以上に 依頼先を選んだ基準は ①実行委員会メンバーと関係性がある ②学生やボランティアの受け入れ経験がある ③リアルな拠点がある ④活動分野や地域が適度にばらける

スケジュール

～6月	広報、説明会、受け入れ候補団体訪問、クラウドファンディング	準備
7月	研修会&マッチング会 7/24実施 (学生と団体のマッチング) 講義・ワーク・団体紹介・相談会	
8月 ～9月	インターン活動 10回以上が目安 学生同士の交流会(2回)・受入団体会議	実施
10月	報告会(プレゼンより交流重視) 10/30実施	
11月 ～12月	インターン生へのアンケート 次年度に向けた意見交換会	振り返り
2月	受け入れ団体へのヒアリング 次年度に向けた振り返り	

※
夏の短期インターン終了後に長期プロジェクト型インターンをできないかと考えていたが、計画を変更して、インターン生や受け入れ団体へのニーズ調査にあてた。

2022年度受け入れ団体（10団体）

団体名	活動分野
NPO法人neomura	まちづくり（用賀）
一般社団法人おやまちプロジェクト	まちづくり（尾山台の商店街）
NPO法人せたがや子育てネット	子育て支援
放課後等デイサービス 凸凹Kidsすぺいす	障害児支援
認定NPO法人プレーパークせたがや	子ども・外遊び
100人の本屋さん	まちづくり（松陰神社前）
ハーモニー	精神障害者支援
祖師谷ごちゃ混ぜプロジェクト（わーぷれ）	子ども・子育て支援・まちづくり
岡さんのいえ	多世代の居場所づくり（上北沢）
一般財団法人世田谷コミュニティ財団	中間支援

短期インターンの活動（8月～9月）



- ・ イベント運営
 - ・ 子どもと一緒に遊ぶ
 - ・ 高齢者と交流
 - ・ 拠点の環境整備
- など

学生シェアリング会（受け入れ団体の拠点で開催）



受け入れ団体会議



【団体にとってのインターン受け入れの意味】

- 「多様性」
- 「異質な存在」
- 「若者の存在」

【受け入れについての改善点やアイデア】

- ・インターン生の事前情報のとりまとめと共有
- ・インターンプログラムを考える際の壁打ち役

事業に関する成果

■ 事業開始2年目にして本格的な実施

- ・ インターンの人数・期間・受け入れ団体
- ・ 次年度に向けたニーズを把握できた

■ 若者が、世田谷の地域に出会い活動する場をつくることができた

- ・ 運営側の想定を超える活動や波及効果も
- ・ 「計画すること」と「計画しないこと」

事業に関する課題と可能性

■ 事業実施体制の強化

- ・ 次年度からの実行委員会としての事務局体制の確立
- ・ 学生運営スタッフが主体的に活躍できるようなコーディネート

■ 広報・情報発信の強化

- ・ 大学や大学教員との連携強化
- ・ インターン活動情報の蓄積と見える化
→ 新たな参加者が参加しやすいように、活動しやすいように

■ 学生と団体のマッチング方法の進化

- ・ 団体ごとの現場訪問、インターン募集要項の整備

■ 地域インターンシップコミュニティづくり

- ・ インターン卒業生、大学教員有志、受け入れ団体等



協働に関する成果と課題

■ 事業としての信頼性が高まった

- ・ 団体への受け入れ依頼や、学生への広報や声かけがしやすくなった

■ 若者が世田谷区役所の存在を身近に感じることができた

- ・ 区役所職員などさまざまな大人と同席すること
- ・ 区役所を利用すること

■ 区の効果的な役割とは

- ・ 学生が区役所をより身近に感じられるような企画

■ シームレスな情報共有を

- ・ チームとして協働での事業企画へ

～若者と地域をつなぐプロジェクト～

地域インターンシップ 世田谷

ご清聴ありがとうございました。

認定NPO法人CFFジャパン／地域インターンシップ世田谷実行委員会

2023.3.23 令和4年度世田谷区提案型協働事業成果報告会